Hello, English

English for Teachers of Children

Chizuko Aiba
Machiko Fujiwara
Brian Byrd
Jason Barrows

SEIBIDO

はしがき

本書は、将来、小学校教員、幼稚園教員、児童英語講師などを目指す大学生・短大生・専門学校生向けの総合英語テキストです。教育学部、児童学科などに所属する方を中心に、英語を教えることに興味を持つ、幅広い方を対象として想定しています。

小学校における外国語（英語）教育の機会が増える中、教員を目指すすべての人が、英語でコミュニケーションを図る力、また、実際に授業を行うために必要な知識や技術を身につけることが、ますます必要になっています。同時に、幼稚園や保育園など、低年齢からの英語教育への関心も高まっています。

本書は、小学校の英語教育、児童英語教育に特化した、ESP（English for Specific Purpose）のテキストも兼ねています。実践的な場面・内容であること、学習者にとって定着しやすい英語であること、現場で必要な知識が得られることなどを基本とし、実践的な英語力をバランスよく育成できるよう配慮しました。

架空のある小学校･幼稚園を舞台とし､ALT（外国語指導助手）と学級担任がコミュニケーションをとる場面、実際の授業や学校生活における具体的な活動や場面が取り上げられています。まだ教育現場で教えたことのない方も、本書を通じて学校の様子が身近に感じられることでしょう。

本書には以下のような特長があります。

- ALT と教員・児童との会話を通じて、場面に応じた ALT とのコミュニケーションが学べます。
- 基本的な活動や指導法など、すぐに教育現場で使える内容が盛り込まれています。
- 小学校や幼稚園で必要な語彙と教室英語が紹介されています。
- 他教科を英語で学ぶ CLIL（内容言語統合型学習）的な実践が紹介されています。
- 日本の文化を紹介する活動などを通じ、児童にグローバルな感覚をもって指導する方法が学べます。
- 英語を通じて、小学校の教育現場に関する基礎的な知識も得ることができます。

本書を一冊終えたとき、ある程度、子どもへの英語の教え方や工夫の仕方がわかり、臆せずに児童の前に立てるようになることが期待されます。

本書は、私どもが教育現場で実践・経験したことを基に作成しており、現職教員の研修用テキストとしても、参考にしていただくこともできると考えています。実践のすべてをカバーすることは到底できませんが、教員養成、そして将来の実践の場で、本書が役立つことを願っています。

最後になりましたが、本書の出版にあたり、ご尽力いただきました株式会社成美堂社長佐野英一郎氏、小学校英語教育の専門的な観点から、企画から編集まで丁寧な仕事をしてくださった井上美佐子氏に感謝申し上げます。また、お力添えをいただきました宍戸真先生、ご助言を賜りました大庭裕先生、ご協力をいただきました出水純二、藤原孝堂、Carmen Willford の三氏にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

筆者一同

本書の構成と各セクションのねらい

本書は、主に小学校での 1 年間を想定し、「ALT との出会いから授業スタートまで」「授業の実際」「他教科を取り入れた英語学習（CLIL）」「学校行事の場面」と 4 つのパートから成り、合計 15 ユニットを通して学びます。各ユニットは以下のような構成になっています。

● Dialogue

小学校や幼稚園などの教育現場で教員･ALT･児童が交わす会話表現に慣れ、口頭で練習し、表現を身につけることが目的です。音声を聞いて空欄を埋めるリスニング問題、語句を入れ替えて行う口頭練習があります。

● Listening

各ユニットのトピックに沿った内容を聞き取り、理解することを目的としています。ナレーション形式か、会話形式で構成されています。情報を聞き取れているか、True/False の問題で確認します。

● Column

小学校教員や幼稚園教員が知っておきたい、英語や英語指導についての基本知識、異文化理解に関する知識など、役に立つ情報を得ることができます。

● Reading

トピックに沿った内容などが、200 語程度の比較的やさしい英文で書かれています。英文を読み、内容を理解することが目的です。本文に出てくる語句の 10 個を日本語で確認してから、内容理解に進みます。選択問題に答えながら、内容把握ができているか確認できます。語句は、主に「JACET 8000*」のレベル 2 ～ 5 の範囲のもの、各トピックで知っていた方がよいと思われるものが含まれています。

● Grammar Point

Reading に出てくる基本的な文法項目を選び、文法の理解度を確認することが目的です。日本語に合うように英文を完成させ、理解しているかを確認できます。簡単な解説もあり、理解の助けになるようにしています。

● Topic

学校生活や授業に関連した表現や語彙などを学び、英語で言えるようになることが目的です。イラストと英語や日本語と英語のマッチングなどで問題を解いていきます。多くのユニットで、リズムに乗って語彙や表現を練習できるチャンツを収録しています。ぜひ活用し、音声と一緒に繰り返しながら覚えるようにしましょう。

● Useful Expressions

小学校や幼稚園でよく使われる表現を覚え、使えるようになることが目的です。日本語に合った英文の一部を、語句を並べ替えて完成させる形式です。現場ですぐに使える表現ですので、しっかり覚えましょう。

※本書の表記および音声は、アメリカ英語を使用しています。

*JACET 8000：大学英語教育学会（JACET）が、日本人が国際コミュニケーションを行う上で必要な語彙 8,000 語を選定したもの。

小学校外国語教育　知っておきたい基礎知識
（1）これからの外国語教育

■小学校ではどんな英語教育が行われているのですか。

2002 年から、「総合的な学習の時間」の一環として、公立小学校で英語活動が行われるようになりました。その後、2011 年度から、小学校高学年で週 1 コマの「外国語活動」が必修となり、文部科学省作成の児童用テキストやデジタル教材が学校に配付され、用いられてきました。1 ～ 4 年生でも、「総合的な学習の時間」や余剰時間を使って、英語にふれる授業を行ってきた学校も多数あります。

外国語活動では、基本的な英語の音声や表現にふれながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することを目標に授業が行われてきました。授業計画や授業実施の中心を担ってきたのは学級担任です。学級担任には、「学習者のモデル」として積極的に英語を使うことが求められ、ALT（外国語指導助手）や、ICT を含む視聴覚教材を活用して授業が行われてきました。なお、外国語活動においてはテストや評定はなく、評価は記述式で行われています。

■これからの英語教育はどうなるのですか。

2014 年 12 月に文部科学省より「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」が公表されました。その後の有識者会議等を経て、2020 年度から、小学校の外国語教育を高学年で正式教科化し、週 2 コマ程度、年間 70 単位時間程度を確保すること、「聞くこと」「話すこと」に加え、「読むこと」「書くこと」も取り入れること、また、中学年では外国語活動を週 1 コマ程度実施することが示されています。

2016 年度中に新しい学習指導要領が告示され、検定教科書が作られます。2018 年度より先行実施、2020 年度から新学習指導要領が全面実施となります。高学年の目標の例としては、「自分の好きなものや、家族、 1 日の生活などについて、友達に質問したり質問に答えたりできるようにする」といった内容が挙げられています。

今後、小学校から高等学校までの英語教育を通じて、「英語を使って何ができるようになるか」という観点から目標を設定し、「使える英語力」を育てることが求められることになります。

■先生を目指す人はどんな準備をすればよいのですか。

英語が正式教科になると、高学年では、学級担任が専門性を高めて指導するとともに専科教員や ALT を活用すること、中学年の外国語活動では、ALT 等を活用し、学級担任が中心に授業を行う方針が示されています。

専科教員や ALT の配置は自治体により異なりますので、先生を目指す人は誰でも、英語を指導できるよう準備をしておく必要があります。

教員採用試験では、学習指導要領の「目標」「内容」のほか、ALT との会話文や、実際の授業の場面についての問いも増えています。基本的な英語コミュニケーション能力、教室英語表現、基本的な指導法や活動を学んでおく必要があります。本書を用いた学習は、それらの力をつける一助になるでしょう。

何より、積極的に外国語を使って外国の方とコミュニケーションを図ろうとする態度が、これからの教員にはますます求められることになります。

［文部科学省の WEB サイトもチェックしよう］

以下は文部科学省「外国語活動」のページです。学習指導要領の改訂に関わる審議内容などの資料も、文部科学省の WEB サイトに掲載されます。

http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/index.htm

（文責：編集部）

Table of Contents

PART 1　出会いから授業スタートまで

UNIT 1 ALT's First Visit to Minami Elementary School 8
■ ALT の南小学校の初訪問

UNIT 2 Getting to Know Each Other 14
■ ALT とのコミュニケーション――互いに知り合う

UNIT 3 School Lunch 20
■ 学校給食

UNIT 4 Play Time 26
■ 休み時間

PART 2　授業の実際

UNIT 5 The First English Class 34
■ 最初の授業

UNIT 6 Teaching Numbers 1 40
■ 授業スタート（数を教える 1）

UNIT 7 Teaching Numbers 2 46
■ 授業の展開（数を教える 2）

UNIT 8 Reflection 52
■ 授業を終える（振り返り）

UNIT 9 Activities at a Kindergarten 58
■ 幼稚園でのアクティビティ

PART 3　他教科を取り入れた英語学習（CLIL）

UNIT 10 Growing Plants and Observing the Butterfly Lifecycle 66
■ 朝顔の栽培とチョウの一生――生活科・理科を取り入れて

UNIT 11 Making *Onigiri* and Curry 72
■ おにぎりとカレーの作り方――家庭科を取り入れて

UNIT 12 Making a Town Map 78
■ タウンマップを作ろう――社会科を取り入れて

PART 4　学校行事の場面

UNIT 13 Introducing Japanese Culture 86
■ 日本文化の紹介

UNIT 14 Evacuation Drills 92
■ 避難訓練

UNIT 15 Graduation 98
■ 卒業

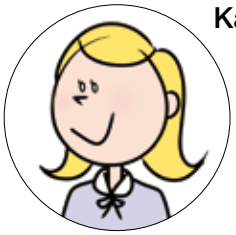
参考資料

- 小学校外国語教育　知っておきたい基礎知識（1）（2）（3）…… 5, 32, 64
- 小学校での CLIL の実践例（実際の授業の様子より）…… 84
- 児童英語教育の定番教材例—マザーグース・歌、絵本— …… 104
- 文字指導・フォニックス指導…… 105
- 学校生活に関わる語彙リスト（科目、クラブ名、学校行事など）…… 106
- 覚えておきたい教室英語表現 50 …… 108

主な登場人物

斉藤祐太

南小学校の外国語（英語）担当。6 年生の学級担任で 28 歳。大学時代の海外旅行がきっかけで、外国の人と話すことが好きになった。

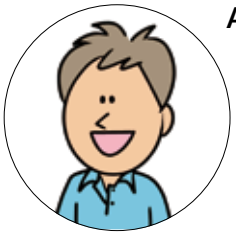


Katherine Smith　キャサリン・スミス（ケイティ）

JET プログラム（p. 9）で来日した ALT。アメリカ合衆国（以下米国）出身の 23 歳。今年度から南小学校に勤めることになった。学生時代に訪日の経験がある。

戸田優子

南小学校の 3 年生の学級担任。30 歳。



Andrew Lopez　アンドリュー・ロペス（アンディ）

JET プログラムで来日した ALT で、フィリピン共和国出身。26 歳。

南小学校

都内にある小学校。英語教育に力を入れており、全学年で英語の時間がある。オーストラリアの子どもたちとの交流や、他教科の内容を英語の授業に取り入れる実践など、さまざまな試みをしている。

UNIT 1 ALT's First Visit to Minami Elementary School

南小学校に、新しい外国語指導助手（ALT*）のキャサリン・スミス（以下ケイティ*）が打ち合わせのためにやってきました。学校の外国語（英語）担当の斉藤祐太先生が出迎えます。

*Assistant Language Teacher

*JET プログラム（右ページ下コラム参照）で派遣される ALT は若者が多いこともあり、小学校では親しみを込めて「ケイティ」または「ケイティ先生」のようにファースト・ネームを用いて呼ぶことが多いようです。本書では現状に沿ってファースト・ネームを使用しています。

Dialogue

斉藤先生とケイティの初対面の挨拶の場面です。内容を考えながら聞きましょう。

Listen, Fill in & Repeat

CD Self-Study 03

会話を聞いて空欄を埋めましょう。意味を確認し、英語を練習しましょう。

Mr. Saito: Hello. My name is Saito Yuta*. I'm in (　　) of the English classes. Nice to meet you.

Katie: Nice to meet you, too. My name is Katherine Smith[1]. Please call me Katie[2].

Mr. Saito: OK, Katie[2]. What (　　) our students call you?

Katie: Please have them call me Katie[2].

Mr. Saito: OK. I hope you'll enjoy teaching at our school.

Katie: I'm (　　) forward to it.

*中学校外国語科の検定教科書において、現在、日本人の名前は「姓名」の順で表記されており、本書もこれにならっています。

Substitution Drill

上のダイアログの下線部に以下の語句を入れ替え、ペアで練習しましょう。

1	Andrew Lopez	Megan White
2	Andy	Meg

*英語圏で使われる伝統的な名前には、多くの場合、このように短縮形があります。

Listening

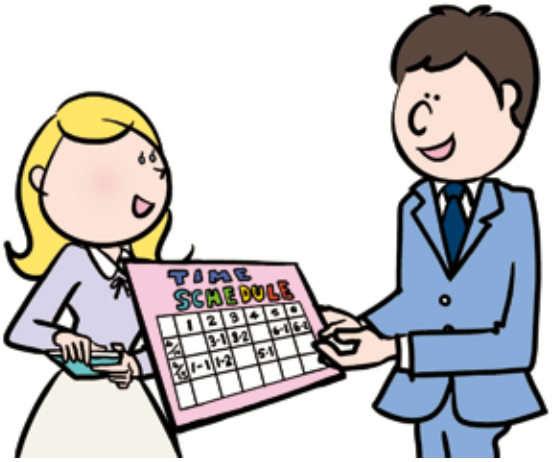
斉藤先生は、ケイティに時間割を見せながら、学校や授業について説明をします。児童数、各学年の英語の授業のコマ数、最初の授業の内容などに気をつけて聞きましょう。

True or False

CD Self-Study 04

内容と一致するものは T (True)、異なるものは F (False) にチェック ✓ しましょう。

	T	F
1. The school has over 300 students.	☐	☐
2. Students in the third and fourth grades have English twice a week.	☐	☐
3. Katie will introduce herself in her first lesson next Tuesday.	☐	☐



Column **ALT (外国語指導助手) : Assistant Language Teacher**

小学校から高等学校において、日本人教員を補助する立場で語学指導を行うのが ALT です。国の「JET プログラム」(「語学指導等を行う外国青年招致事業」: The Japan Exchange and Teaching Program) により学校に派遣されるほか、自治体の独自採用、ALT の派遣会社等から派遣される場合もあり、雇用形態によって、授業や学校生活への関わり方も異なります。一般的には、日本の教員免許がないと単独で授業はできません。ALT には、授業計画や授業実施で教員を助ける役割が期待されます。また、音声面でのお手本、子どもが英語を使う対象、異文化の伝道者などの役割も担っています。ALT を仲間として迎え、積極的にコミュニケーションをとり信頼関係をつくることが、よい授業のために必要であり、子どもにとってもよいお手本になると言えるでしょう。

Reading

斉藤先生は、学校からのお知らせをケイティに渡しました。学校生活について読みましょう。

Word Match

CD Self-Study 05

以下の語句の意味を下の日本語から選び、記号を書きましょう。

1. appropriately [e] **2.** indoor shoes [ ] **3.** shoebox [ ]

4. entrance hall [ ] **5.** briefly [ ] **6.** dismissal [ ] **7.** recess [ ]

8. period [ ] **9.** hallway [ ] **10.** teaching materials [ ]

a. （学校の）時限	**b.** 簡単に	**c.** 廊下	**d.** 教材	**e.** 適切な
f. 上履き	**g.** 靴箱	**h.** 休み時間	**i.** 下校	**j.** 玄関ホール

CD Self-Study 06

School Information for Ms. Smith

- Please come to school by 8:20 a.m. Call the school if you are late or absent for any reason.
- Please dress appropriately for school.
- Please bring indoor shoes to wear while in the school building. There is a shoebox with your name on it in the entrance hall.
- When you arrive at school, please talk briefly with the homeroom teachers about the day's lessons.
- You will have a meeting with Mr. Saito and some of the homeroom teachers after school on Tuesdays to plan the following week's lessons.
- The first class starts at 8:50 a.m. Each class is 45 minutes long. There are five or six classes a day. The sixth class finishes at 3:15 p.m. and students' dismissal time is 3:40 p.m.
- There is a five-minute break between classes and 20-minute recesses between the second and third periods and after lunch. Students will be happy if you can join them during recesses.
- There is a cleaning time right after lunch. Students take responsibility for cleaning their classrooms, along with the hallways and stairs.
- The English teaching materials are in the cabinet behind your desk.

Comprehension Check

左の英文に関する質問の答えを a ～ c の中から選びましょう。

1. What should Katie do if she can't come to school?

a. She should send an email to the school.

b. She should call the school.

c. She should send a letter to the school.

2. What will the teachers discuss after school on Tuesdays?

a. They will discuss the lessons of the day.

b. They will discuss the following week's lessons.

c. They will discuss the lessons of the year.

3. Where are the teaching materials?

a. They are next to Mr. Saito's desk.

b. They are in the entrance hall.

c. They are in the cabinet behind Katie's desk.

Grammar Point

（　　）内の適切な語句を選び、日本語に合う英文を完成させましょう。

1. 毎朝 1 時間目は 8 時 50 分に始まりますが、明日は 8 時 55 分に始まります。
The first class (will start / starts) at 8:50 a.m. every morning, but it (will start / starts) at 8:55 a.m. tomorrow.

2. 教材を教室に置きっぱなしにしてはいけません。正しい場所に戻して下さい。
(Please leave / Don't leave) teaching materials in the classroom. (Please return / Don't return) them to the proper place.

［**現在形・未来形**］現在の状態やくり返し行われる動作は、**動詞の現在形**を使い、未来の予定や行動を表すときは **will ＋動詞の原形**を使います。
［**命令文**］「～しなさい」という意味の、命令や要求などの表現では冒頭に動詞の原形を用います。また、文頭や文尾に **please**（**お願いします**）を入れると依頼の表現に、文頭に **Don't**（**～しないで**）をつけると禁止の表現になります。

Topic 1: Teachers and Staff

教職員の名称について学びましょう。

Word Match & Chant

CD Self-Study 07

以下の日本語に合った英語を下から選び、数字を書きましょう。次に音声を聞いて練習しましょう。

a. 校長（　　）　**b.** 主幹教諭（　　）　**c.** 司書教諭（　　）
d. 図工専科教員（　　）　**e.** 副校長（　　）　**f.** 栄養教諭（　　）
g. 学級担任（　　）　**h.** 学校用務員（　　）　**i.** 教頭（　　）
j. 事務職員（　　）　**k.** 養護教諭（　　）　**l.** 学童擁護員（　　）

① principal　② vice principal　③ head teacher　④ chief teacher
⑤ homeroom teachers (1st, 2nd, 3rd, 4th, 5th, 6th grade teacher)
⑥ art teacher　⑦ music teacher　⑧ nurse teacher
⑨ librarian teacher　⑩ school counselor　⑪ nutrition educator
⑫ office staff　⑬ custodian　⑭ ALT　⑮ crossing guard

* 教職員の構成等は地域により異なります。

Practice

例にならって、音楽専科教員、スクールカウンセラーの紹介をしましょう。

This is our principal, Mr. Hayashi.

principal
Mr. Hayashi

1.

music teacher
Ms. Sano

2.

school counselor
Ms. Suzuki

Useful Expressions

覚えておきたいフレーズを学びましょう。

Word Order

次は新任の ALT を案内する表現です。単語を並び替えて文を完成させましょう。

1. 5 年生の学級担任の原先生を紹介します。

I'd _____ to Ms. Hara,

to / you / like / introduce

a fifth grade homeroom teacher.

2. 校内を案内します。

I'll _____ school.

our / around / show / you

3. コピー機の使い方を教えましょう。

Let me _____

use / you / how / show / to

the copying machine.

4. ここが教材の保管場所です。

This _____

keep / where / we / is

the teaching materials.

5. 何か質問があれば、遠慮なく私に聞いて下さい。

Please _____ me

feel / ask / to / free

any questions.